



# 伊 敷 台 中 学 校

伊敷台中学校だより  
12月号 (R4. 12. 20)  
文責：校長

## 心のこもった雑巾、大切に使います。

— 鹿児島県法人会女性部会から雑巾が寄贈 —



11/16(水)の全校朝会で、鹿児島県法人会女性部会が用意した「手作りの雑巾」の贈呈式がありました。

女性部会によるこの活動は、地域社会貢献活動の一環として行われているもので、税金により建てられた学校を、雑巾を使って綺麗にすることで、友達と仲良く過ごす環境を大切にしたいという心や故郷を慕う心を育てたいという願いが込められています。

雑巾を受け取った3年生の三嶋凜太郎さん(前生徒会副会長)からは、「本校では、異学年による縦割り無言作業に取り組んでいます。いただいた雑巾を大切に使いながら、学校がきれいになるよう、より一層作業に取り組みます。」と、力強い御礼の言葉がありました。

生徒の皆さん、女性部会の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、毎日生活している学校の美化活動に努めていきましょう。

## 活動を通して学ぶPTA資源回収

— 何のために資源回収するのか？ —



12/4(日)、「第2回資源回収」が行われました。前日までの悪天候に続き、当日の早朝も小雨が降っていましたが、活動中には雨も上がり、延期することなく無事に実施することができました。

資源回収の目的は、部活動などの活動資金に充てるためでもありますが、活動を通して、リサイクル意識を高めるとともに、地域の方々の協力も得ることで、地域の一員としての自覚を高めることにもあります。

地域の方々の中には、この日のために、新聞やビール瓶をためておき、皆さんが回収に来ることを待っている方もおられます。その時にかけていただいた言葉(「ありがとうね。頑張ってるね。」等)を喜びとして、今後も、地域のために自分ができることはないか。と深く考える生徒であってほしいと思います。

参加した生徒、保護者、職員の皆様、本当にお疲れ様でした。また、活動を企画・準備してくださった、地域部保護者の皆様、ありがとうございました。

## 自分に勝つ。あきらめない強い心を。

— 真剣に取り組んだロードレース大会 —



12/9(金)・12/10(土)に、校内ロードレース大会が実施されました。

女子2km、男子3kmの道のりは厳しく、特に、本校周辺は坂道が多いことから、顔をしかめ、必死に走る姿がたくさん見られました。また、スタート時には、仲の良いグループで走っていても、徐々に自分のペースで一人で走る姿が印象に残っています。マラソンはよく自分自身の人生に例えられます。大きな壁にぶち当たった時、人の助けも必要ですが、自分でそれを乗り越え、解決しようとするエネルギーが絶対に必要です。長い距離を走りながら、皆さんはゴールを目指し、記録短縮を目指したはずですが、この気持ちは、今後の人生に大きな意味を持つと信じています。よく頑張りました。

## 来年がいい年になりますように。

— 父親セミナーによる門松が完成 —



12/11(日)、本校正門に見事な門松が建てられました。本校父親セミナー会員と先生方、それに2年生の生徒3人による力作です。

「松は千歳を契り、竹は万歳を契る」と言われます。生徒の皆さんが、令和5年に向かって、松や竹のごとく、たくましく力強く成長するようにと、熱い願いが込められています。

セミナーの保護者の皆様、早朝から、ありがとうございました。

### 〈保護者の皆様へ〉

本年も残り僅かとなりました。保護者の皆様には、本校教育活動に温かい御協力を賜り、深く御礼申し上げます。年末年始を御家族で穏やかにお過ごしいただき、来年が良い年となりますようお願いするとともに、今後とも、よろしくお願ひいたします。